

一般質問

森田
議員

御厨、星鹿の地域振興策と活性化について

質 御厨と星鹿の両地域に関しては、女山の道路拡張工事と星鹿小学校改築が予定されておりますが、その後はこれといった振興策や経済活性化の方向性も示されていないように思います。このままでは、御厨、星鹿両地区はますます空洞化が進み、過疎化の進行にもつながりかねません。この地域の農林業、水産業、商業など主たる産業に対して、どのような施策に取り組んでいく考えなのか、ご所見を伺いたい。

答 現在、市内それぞれの地域の特性を生かしながら、バランスの取れた地域振興策を推進しております。御厨、星鹿地区に関しましては振興計画を立てて、地元の皆様とともに振興策を進めてまいります。グリーンツーリズム体験型事業の拡充、御厨港埋立地の活用、旧小学校施設の活用、星鹿城山を生かした観光地づくりなどいろいろ課題もあります。御厨、星鹿の基幹産業である農水産業の更なる振興を図るとともに、地域の魅力ある素材を有機的に結び付

けて地域の活性化を図ってまいります。

不老山総合公園について

質 展望台が設置されているが、特に梅雨時などで急に雨が降った場合下の駐車場に戻るまでの間は雨宿りするところもあります。特に足腰の悪い方は駆けて下りることもできません。駐車場に行きつくまでには濡れてしまいます。来園者のために屋根付きベンチの設置が必要と思うが、見解を伺いたい。

答 ご指摘のとおり、来園された方が休憩をしたり、急な雨の時の雨宿りをしたりする施設が不足していると思います。不老山総合公園も供用を開始してから約19年を経ていますので、いろんなところに老朽化がみられます。財政上の制約もありますので、施設の長寿命化計画を立てて、順次計画的に施設の整備を進めてまいります。

一般質問

山崎
議員

ふるさと納税の活用について

質 平成20年度から平成26年度までのふるさと納税の寄付金の額と、寄付金の使途の指定内訳の状況についてお尋ねします。

答 平成20年度32件15万5千円、21年度28件12万4千円、22年度23件28万7千円、23年度30件13万6千円、24年度34件16万5千円、25年度31件221万円、今年度11月までが530件998万5千円となっています。

使途の指定内訳は、次代を担う子どもたちを育むまちづくりが約30パーセント、住んでみたい・住み続けたいまちづくりが約10パーセント、住民主体のまちづくりとほんもの体験日本一のまちづくりが合わせて約10パーセント。残り50パーセントが指定なしという状況です。

質 これまで7年間、ふるさと納税寄付金の使途の指定で「指定なし」を除くと、次代を担う子どもたちを育むまちづくりと住んでみたい・住み続けたいまちづくりに指定が集中している。現在、市立図書館や各学校図書室の図書購入費予算は毎年少ない状況にあります。そこで、今後

増加すると思われるふるさと納税を活用して、次代を担う子どもたちのために、一定のルール付けをして図書購入の予算化を図ってはどうか。
答 ふるさと納税の使途については、ご意見等も踏まえ、ご寄付頂いた方々とのつながりを保ちながら、そのご意向に沿った有効な活用に取り組んでまいります。

星鹿に公営住宅を建設することについて

質 6月議会の一般質問で市長は、「定住促進住宅の建設と空き家の有効活用を組み合わせた住宅対策が有効ではないか。建設に向けて具体的な展開を図っていききたい」と答弁されましたが、その後の進展状況について具体的に示して頂きたい。

答 住宅政策は、その地域の活性化に欠かせない事業であり、地方人口ビジョン策定の中に星鹿、上志佐の住宅計画を組み込んで実現を図っていききたいと考えています。

具体的な建設位置については、保育所や小学校に近い旧星鹿保育所の跡地を候補地の一つと考えています。

その他婚活inまつうら実行委員会について、消防団詰所について及びアユの放流について質問しました。